

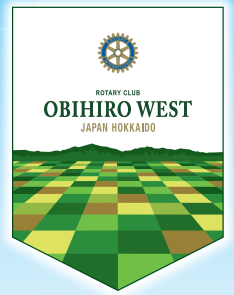


帯広西ロータリークラブ

第1998回例会

会報

2013.5.30



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

会長報告

川田会長

みなさんこんばんは。今日は2つのお話をさせていただきます。まずは、今から3年半前その当時の政権政党は民主党でした。11月に、民主党の事業仕分けが行われ、267億円のスパコンの予算が問題となりました。その時の蓮舂議員の言葉、『世界になる理由はどこにあるのでしょうか？二位ではだめなんですか？』という有名な言葉がありますが、その当時の世の科学者たちは『スパコンがなければ、これからの科学立国たる日本の未来はない』と民主党にクレームを出していました。そのことに関連して、今日ご紹介したいのが『濱口 雄幸』さんで、明治3年に生まれ、昭和6年に没しています。なんで有名かという『ライオン宰相』とあだ名がついています。ひげも立っていますし、頭の毛も立っていました。大学を卒業し当時の大蔵官僚になり、しかし上司にたてつき田舎に飛ばされました。その後、東京によびもどされ政治家になり、そして昭和初期の内閣総理大臣となりました。濱口雄幸の有名な言葉があります。『平凡人が平凡なことをして居たのでは、此の世において平凡以下のことしかなし得ぬこと極めて明瞭である。修養と努力とは、自覚したる平凡人の全生活であらねばならぬ』平凡人を目指すためには努力と修養が大切なんだ、1番を目指さないで2番もありえないということを言っています。濱口宰相は、昭和5年に狙撃事件にあい、危うく一命は取り留めましたが翌昭和6年に亡くなっています。



次に、だれが言ったかはわかりませんが、『経営には7つの罪がある』という話です。7つの罪とは『経営方針不在』、『意思決定不透明』、『責任感不在・責任感皆無』、『人事私物化』、『もの言わざるの罪』、『まんねりの罪』、『公私混同』です。私がRCの会長になった時にこの7つの罪をなるべく侵さないようにと考えておりました。それで6月を目前にしてちょっと振り返ってみました。‘経営方針’としては、RC会長として方針がわかりやすく根柢を含めて出しました。‘意思決定不透明’は、私は我が強いのでこれはありません。‘責任感皆無’は、私はときどき人に責任をなすりつけることがあったかと思えます。‘人事私物化’に関しては、私勝手に人事しているように思っているかもしれませんが、人事するときには表につけて、委員長

いろいろな方にするようにし、同じ系統に歩まないようにいろいろな事を経験するように考えて行いました。私は私物化をしてないと思っております。‘もの言わざるの罪’は、私は口数が多いほうなのでこれはないと思います。‘まんねりの罪’、これが一番気にかけていました。昔からやってきた事に対して良いか悪いかを検証しない、以前から事業計画書が同じことが書かれてあることに気が付きました。これは帯広西RCのまんねり化しているのではないかと思い検証させていただきました。‘公私混同’は、半分位は公私混同していたかもしれません。経営の7つの罪を、経営ということではなくRCの会長に置き換えて考えていたことを皆さんにお話しさせていただきました。

会務報告

大友幹事

・帯広西RC 第4回クラブ協議会開催のご案内

日時 6月13日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

・帯広北RC 移動例会開催のご案内

日時 6月21日(金)午後0時00分

場所 帯広動物園

ニコニコ献金

立崎貴之会員より披露

- 堂山 啓太会員 今日の新世代担当の例会となります。どうぞよろしくお願ひします。
- 石原 英樹会員 5RC対抗ゴルフ大会優勝しました。ありがとうございます。
- 天野 清一会員 5RCゴルフ対抗戦で西RC連覇に貢献できてとても良かったです。また、来年も優勝できるよう頑張ります。
- 大友 広明会員 5RCゴルフ大会で西RCが優勝いたしました。上位8名以内に入りました。バスグロもいただきました。
- 立崎 貴之会員 久しぶりにニコニコ読ませていただきました。

◇プログラム

新世代委員会 堂山委員長

今日はRACから5名の方にきてもらい、活動報告をしてもらう予定です。RACは、今年度はあと2回の例会で活動終了です。先日チャリティーフリーマーケットをイトーヨーカドーのところで行いました。最近、RACの出席率低かったので、これに参加して4-5千円使わせてもらいました。

(内容は次ページに掲載)

ニコニコ 5月30日 10,000円
献金 累計 632,340円 (5月30日現在)



会長 川田 章博
幹事 大友 広明

副会長 岡田 武稔
副会長 古田 敦則

会場監督理事 上垣香世子
プログラム委員理事 河西 智子

発行：広報委員会
委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

『帯広ローターアクトクラブ(RAC)活動報告』

帯広ローターアクトクラブ
会長 若山貴弘様



前回例会に参加させていただいてから4ヶ月しか経過していません。その間に大きい行事がありましたので、そちらをメインに話させていただきます。

まず初めに、西RCの皆様にお世話になっておりますエコキャップ収集に関してお礼を言いたいと思います。集まったエコキャップの札幌への搬送を2年前より西RC様にご協力いただけるようになり私たちの倉庫が片付きました。今後とも収集を頑張ろうと考えており、今年度もたくさんのエコキャップが集まり、今のところ420Kgあります。今後とも地域の皆様と協力してこのエコキャップ収集を考えております。どうか引き続きご協力お願いいたします。

ところで皆さん、私たちが何をやっているのかよくわからないのではないのでしょうか？ロータリアンの人はもとより、一般の方々も、さらには会員本人も、一体RACはどんな活動に力をかけてやっているのかよくわかってないのではと思っていました。それは、これまでRACで活動してきて、人にこれを行っているのだと強く言えるものがなかった、自己満足で終わっていたからではないかと思えます。今年度は、帯広RACはこれに力を入れているんだということを明確にして、私たちの活動をよりわかりやすいものにしようとしました。そこで今年のクラブテーマは『単純明快』とし活動の3本柱を決めました。1つ目の『12時間チャリティーソフトボール』は前回お話しさせていただきましたので、今日は残りの2つについてお話しします。

まずは、『東日本大震災を忘れない』シンポジウムについてです。このシンポジウムは、昨年も開催されています。今年もとち折鶴の会と協力しまして開催しました。今回は私が実行委員長となり、RACが先頭に立って企画から当日の運営をいたしました。実行委員会の中には、4名の市議会議員も入っていました。このシンポジウムの目的は、震災を風化させてはいけない、被災地の支援の熱を冷まさせないよう、震災のあった日に改めて考える機会をつくらうというものです。2年前大震災の起こった直後に、僕と永森先輩と2人で岩手県宮古市の災害ボランティアに行ってきました。3日間というわずかな期間だったのですが、家の中や道路の側溝に溜まった土砂を掻き出す作業をメインに行ってきました。今回のシンポジウム開催にあたってテーマを実行委員会で話し合い、支援の手を止めてはいけないとのことに着眼点をおき、テーマを『引き続き支援活動をされている方の活動を知りその方々の活動にみんなで協力していこう』ということとしました。そのテーマに沿う講演者として、2名の方に講演していただきました。一人目の講演者として、災害救援ネットワーク北海道本部チームやんじーの代表 山口幸雄さん、もう一人はNPO法人コミュニティ・シンクタンクあうるず専務理事 菊池貞雄さんをお願いしました。シンポジウム開催に先立ちまして、御後援のお願いにまわり、帯広市、十勝毎日新聞社、北海道新聞帯広支社、帯広市民ラジオ、NHK帯広放送局、STV放送局、帯広市社会協議会より御後援をいただきました。またFMウィングのラジオ番組にも出演させていただきました。勝毎・道新に告知記事を掲載していただきました。ほかにも、フェイスブックを利用し告知しました。3月10日の当日は、あいにくの吹雪だったのですが約80名の方が参加してくれました。講師の山口さんからは、被災地の復興があまり進んでいない現状や現在も毎月のように被災地の仮設住宅に行っておこなっている炊き出しの作業のことについて話していただきました。菊池さんからは、現在も行っている支援活動や、クリスマスプレゼントとして十勝の物産品を被災地の仮設住宅に送り届ける活動についてお話いただきました。今年のクリスマスにも開催するとのことですので、みなさんご協力をお願いしたいと話していました。そのほかには、復興グッズの販売や募金活動、また講師の方や私たちの支援活動のパネル展示などを廊下にて行いました。募金は16027円が集まり、このお金は講師をされた山口さんの被災地での炊き出しの資金としてお渡ししました。今回は、一般の人を呼んでのシンポジウム開催ということであまり経験がなかった事でしたが無事開催することができた大きな充実感を得ることができました。また来年も開催しますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。開催翌日には、

勝毎と道新に記事にさせていただきました。道新より改めて取材の依頼があり『十勝人』という欄で今回の取り組みについて載せていただくことができました。

次が『第3回チャリティーフリーマーケット』です。今月の19日にイトーヨーカドーの東入り口前にて行いました。この目的は、一つに東日本大震災の震災支援金を集める、もう一つに地元の方が震災復興支援に協力することができる企画を提供するというものです。開催に向けて一番大変なのが、商品の収集です。これはロータリアン頼みとなっております。商品提供の6-7割くらいはロータリアンの方からいただき助けてもらいました。各RCの例会に参加させていただき商品の提供をお願いして回りました。西RCの皆様からもたくさん提供していただきました。堂山委員長をはじめ、ご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。開催日が間近に迫った頃に勝毎に告知の記事を載せていただきました。またフェイスブックでもイベントを告知しました。5月19日当日は、あいにくの空模様でしたが、開始時刻の9時からたくさんのお客様ににぎわいました。商品の種類は、食器やタオルの日用品、電化製品、人形やぬいぐるみ、健康器具、自転車、服、本、骨董品などなど多岐にわたりました。この売上金は、災害救援ネットワーク北海道の山口さんに寄付しました。現在も行っている、現地での炊き出し作業をとおした支援活動資金として使っていただけるようお願いしました。翌日には勝毎に今回の記事を載せてもらいました。今回の売上総額が104786円、そして今回から始めた募金が4824円で、総額109610円のお金が集まりました。売上金のこれまでの成果が、初年度の2011年 79995円、2012年が89340円そして今回が104786円と大きく飛躍しました。この結果もみて、毎年この時期にこの場所で行っているのことが周知してもらえたのかなと感じました。また商品数が大きく増えていることも売上金の増加の要因かなと思っております。これもひとえにロータリアンみなさんのご協力のおかげと思っております。次年度も行いますので、またご協力よろしくお願いたします。お金は後日、改めて山口さんにお渡しいたしました。その場面を勝毎に記事にしてもらい、協力していただきました皆様に感謝とご報告をさせていただきます。

先日行った例会に関してもご報告いたします。これはJICA研修施設の森の交流館にて行った例会で、JICA研修員の方や畜大留学生の方総勢30名の外国人の方に、日本の伝統文化である『神楽』を披露しました。この『神楽』を演じてくれたのは、大正宮神楽保存会の方々で大正に住む小中学生が演じてくれました。この例会はとってもいい例会と思勝毎に取材してもらいました。今年度はただ活動を頑張るだけではなく、まわりのRACに対する注目度もみていこうと考えておりました。そこで良いと思ったことに関しては、積極的にメディアに取り上げていただき僕らの活動を知ってもらおうと考えました。その結果、新聞掲載は13回、ラジオ出演3回、テレビ出演1回となりました。フェイスブックでも帯広RACのページを作りまして日々活動の更新をしております。フェイスブックされている方は是非『いいね』をお願いします。昨日『いいね』の数が100を達成できました。

最後に今後の予定です。6月21日今年度最後の例会をワシントンホテルで歓送迎会として行います。僕の最後の会長としての仕事ですので、ぜひ来ていただいで僕最後の雄姿を見ていただけたらと思います。7月7日は十勝川いかだ下り大会でこれは毎年参加しているものでして、今年は社会奉仕委員会ももっと上の賞を狙っていきたいといっております。

次年度の4役も決定しています。会長 浜野祥一、副会長 鈴木彩乃、幹事 道見賢人、副幹事 砂原 賢太、小峯 洵也です。次年度も宜しくお願致します。

帯広RACの例会は毎月2回、第1・第3木曜日に開催しております。場所はホテル宮崎で、時間は本年度から30分遅らせ19:30~21:00です。皆様もぜひ普段の例会も面白いことをやっておりますので参加していただければ嬉しいです。今後ともよろしくお願いたします。